

鹿児島医セン

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

2011.9

vol.65

鹿児島医療センター看護専門外来のお知らせ

循環器疾患・脳卒中・がん医療を3本柱とした高度医療を担う当センターの外来看護は、超急性期・高度慢性期における高度な看護技術とケアが必要です。診療処置で終わる外来だけでは患者様の早期回復には繋がらず、長期にわたり悩んだり、迷ったりしている症例が多く発生しています。日常生活の管理・在宅療養支援・意志決定への援助など、より専門的看護ケアを実践すべく看護専門外来が求められています。患者様からの相談に応じ、生活全般の指導や情報提供を行い、医師の診療だけでは補えない療養生活の支援や心のケアのために看護専門外来を開設してきました。当センターの看護専門外来は、①助産師外来では、助産師が妊産婦を対象に生活指導や骨盤ケア・マタニティヨガを行っている ②母乳外来では、助産師が母乳育児の継続のためにケアを行っている ③リンパ浮腫外来では、リンパ浮腫指導技能看護師の竹添駒子が婦人科手術後のリンパ浮腫のケアを行っている ④緩和ケア外来では、医師や緩和ケア認定看護師の神崎美保子・臨床心理士などで行っている緩和ケアチームが、在宅療養上の悩みや困っていることを一緒に考えている ⑤糖尿病フットケア外来では、日本糖尿病療養指導士の箕部町子・赤尾綾子・中村由美子が、糖尿病の合併症から起こる足病変のケアや、自己管理について相談を受けている ⑥ストーマケア外来では、皮膚排泄ケア認定看護師の橋口智恵が、人工肛門や人工膀胱造設によって起こる生活上の悩みや皮膚のケアについて相談を受けている ⑦糖尿病療養

指導外来では、糖尿病看護認定看護師の中村由美子が、糖尿病患者様の生活上の悩みや自己管理について相談を受けている。このように、特定の分野で専門的な知識や技術を持った認定看護師や技能者が担当しその専門性を発揮しています。医療が生活を支える医療へと変わってきている現在、この看護専門外来が多くの患者様の生活を支援できるようにしたいと考えています。

外来看護師長 岩永 真知子

看護専門外来のお知らせ

当院では、次のような認定看護師や専門看護師が看護専門外来で活動しています。生活上の悩み・お困りのことやケアの相談にどうぞお役立て下さい。まずは診療科の医師にご相談下さい

- 助産師外来** 妊婦さんが安心して出産ができるように、また産後の方にも安心して育児ができるように生活指導や骨盤ケア・マタニティヨガを行います。 担当者:助産師
- 母乳外来** 当院で出産後に、退院後も母乳育児が続けられるように助産師がケアを行っています。 担当者:助産師
- リンパ浮腫外来** 婦人科手術後のリンパ浮腫にお悩みの方に技能取得看護師がケアしています。 担当者:リンパ浮腫指導技能者 竹添
- 緩和ケア外来** がん治療を行いながら生活している患者様のお悩みや困っていることを一緒に考えていきます。 担当者:緩和ケアチーム、認定看護師 神崎
- ストーマケア外来** 人工肛門や人工膀胱造設によって起こる生活上の悩みや皮膚のケアについて一緒に考えていきます。 担当者:認定看護師 橋口
- フットケア外来** 糖尿病による神経障害や血流障害などの合併症の進行によって起こる足病変のケアを行ったり、自己管理についてのご相談を受けています。 担当者:糖尿病療養指導士 箕部・赤尾・中村
- 糖尿病療養指導外来** 糖尿病治療中の方へ生活上の悩みや自己管理について、一緒に考えていきます。 担当者:認定看護師 中村

相談窓口:総合相談室または診療科の医師にご相談下さい。

	月	火	水	木	金	場 所
フットケア外来	午後					2階看護専門外来
ストーマケア外来				午後		2階看護専門外来
リンパ浮腫外来			午前			2階産婦人科
母乳外来			午後			2階産婦人科
助産師外来	午後	午後		午後	午後	2階産婦人科 妊婦健診時に実施
緩和ケア外来	午後					1階緩和ケア外来
糖尿病療養指導外来			9:00~ 16:00			2階看護専門外来

完全予約制です

糖尿病フットケア外来のご紹介

平成22年12月から糖尿病フットケア外来を開設致しました。

糖尿病患者数は、年々増加しており、さらに糖尿病罹病期間の長い患者様も増えています。また、糖尿病は神経障害や血流障害などの合併症を進行させ、それに伴い足病変を罹患してしまう患者様も多くなっています。しかし、足病変についての知識や関心がない人もおり、靴ずれなどの小さな傷や胼胝などに対する誤ったケアによって気づかぬまま重症化し、最悪な場合は足切断につながってしまう場合もあります。糖尿病患者様の足の傷や胼胝、鶏眼などは慎重にケアしていくことが大切です。

私たちは糖尿病の患者様に対して、予防的なフットケアと早期発見、早期治療により重症化を防ぐフットケアに努めております。また、フットケアを通して、患者さんの思いや生活状況を知り、患者さん一人ひとりに合ったフット

ケア方法や生活習慣改善法を共に考えていきたいと思っております。

現在、当院糖尿病内科に通院されている外来の患者さんを対象に毎週月曜日13:00から16:00までの完全予約制でフットケア外来を行っております。現在までの10カ月間で47名(延べ128名)の患者様がフットケア外来でケアを受けて下さいました。ケアを受けられた患者様は、自分の足に関心をもち、ケアの大切さを実感され、きれいになっていく足を見て大変喜ばれ、足だけでなく療養生活に関心をもち自分の生活を見直すきっかけにもなっているようです。

現在は、当院糖尿病内科に通院されている患者様を対象にしておりますが、将来は、地域全体の糖尿病患者様の足を守るよう、日々関わっていきたく思っております。

糖尿病看護認定看護師 中村 由美子

ストーマケア外来のご紹介

当院には消化管と尿路を人為的に体外に誘導して造設した開放口である人工肛門・人工膀胱(ストーマ)を造設された患者様が年間20名程いらっしゃいます。

検査後にストーマ造設を告げられる方、緊急手術により一時的・永久的にストーマ造設しなければならない方などがおられますが、その心中は穏やかではなく不安と混乱の中、闘病生活を送る中で、ストーマケアの習得は困難で険しい道のりとなります。

そこで、ストーマケアに不安を抱えたまま自宅へ帰られたオストメイト、そのご家族の方々が、よりよい排泄環境を送ることができるストーマリハビリテーションを目標に、平成23年3月に看護専門外来として、ストーマケア外来を開設致しました。

たくさんのお客様と接する中で感じたことは、ストーマ晚期合併症を起こしているが管理としては悩んでいないという現状でした。ストーマ粘膜の損傷に伴

う組織過形成を起こしている患者様が多い現状がありました。そのことから、退院後のストーマ管理の把握とストーマ装具の再選択の重要性を再認識しております。また、オストメイトになったことでの精神的負担、家族の介護についてなどストーマ管理以外のお話を聞くことも多々あります。ストーマケア外来は、患者様・ご家族の思いや悩みを表現できる場所として提供していかなくてはならないと考えております。

現在は、当院の外来を受診されている患者様を対象に行っておりますが、当院以外でのストーマ造設術を受けたオストメイトやそのご家族の疑問やお悩みのご質問をお受けし、日々ストーマ管理を頑張っておられるオストメイトとご家族のために、地域連携を密にし、より良いストーマリハビリテーションの環境提供を行っていきたく思っております。

(社)日本看護協会認定 皮膚・排泄ケア認定看護師 橋口 智恵

新任紹介



循環器科 医師 藤田 祥次

平成23年7月1日より赴任し、勤務させて頂いております。鹿児島県医療センターでの勤務は、はじめてですので不慣れな点が多く、皆さまにはご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、循環器内科医師として微力ながら当院に貢献出来るよう努力致しますので、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



心臓血管外科 医師 岩下 龍史

平成23年7月1日より新杏病院より赴任いたしました。平成15年6月～17年9月までの2年3ヶ月、まだ九州循環器病センター時代に勤務しておりましたが、気が付けば6年の月日が経過しており、病棟システムの違いなどにまだ戸惑うことも多々あります。先輩方にご指導頂きながら早く慣れていきたく思っています。ご迷惑をおかけすることがあると思いますが、今後よろしくお願ひします。



心臓血管外科 医師 上田 英昭

平成23年7月1日付けで鹿児島大学病院から赴任しました。いろいろな病院を転々とはしてききましたが心臓血管外科としての経験はまだまだ浅く、いろいろにご迷惑をかけると思いますが、よろしくお願ひします。

認定看護師紹介

●認定看護管理者

看護部長 中重 敬子

看護師長から看護部長の経験約20年、今まで国立病院機構の看護管理者長期研修は受けていたが、本当に管理的視点が向上しているのか自問自答しながら仕事をしてきた。私は、常日頃「エンプロイアビリティ」ということばを自分に問いかけている。つまり、「雇用されうる人材であるか」「給料に見合った役割を果たしているか」という視点で時々振り返っている。

今回の認定看護管理者認定受験のきっかけは、そのことの確認と受験するために看護管理学習テキスト8冊を読み解き管理的能力を向上させることにあった。2月はじめに受験を決心して本格的にテキストを熟読したのは、3月後半から5月の連休までで、夜中に起きて何度も繰り返し読んだ。脳年齢が高齢化しているのか、記憶に残らない、経営についての用語が解釈できないなど、学習を重ねる毎に

能力の限界を感じたが、とにかく勉強をした。管理の8冊のテキストは管理をもう一度確認するためには必須のテキストであると実感した。また、ドラッカーのマネジメントの本（エッセンシャル版）も読み、「真摯」であること。「強みに目を向ける」など新たな管理的視点も学んだ。

管理者は部下が悩まないような指示をし、部下が目標を達成しやすいような支援をすることであると思う。認定看護管理者として認定されたが、最適な管理をする者としてスタートに立ったと認識している。まだまだ不十分な看護部長であることを自覚しつつ、看護職員が生き生きと働きがいのある職場造りを目指し今後も努力していきたいと思う。

私の座右の銘は、「人事を尽くして天命を待つ」である。今回学んだ「やるだけのことをする」体験を今後の管理に活かしていきたい。



●がん化学療法看護認定看護師

看護師 南 えりか (西4階病棟)

昨年半年間で、がん化学療法看護の最新の専門知識と技術、がん化学療法を受ける患者と家族に対して個別性を大切に看護を学んできました。

1981年以降、がんは日本人の死因の第1位で、治療の進歩により生存率が上がり、慢性疾患としての位置づけがされるようになりました。その結果、多くのがんサバイバーが存在しています。私は、がん化学療法に携わる看護師は、

その人がその人らしく、がんとともに生きるためのサポーターであると思います。

「がんになっても希望とあたりまえの生活を・・・」送れるよう、日々の関わりを丁寧に行い、患者様・御家族に、より近い存在でありたいと思います。そして、組織の一員として、リソースとなれるよう、皆様と一緒に頑張りたいと思います。どうぞよろしく願い致します。

●脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

看護師 井手 智子 (東5階病棟SCU)

昨年半年間、重篤化回避のためのモニタリングとケア、急性期・回復期・維持期を通して一貫した生活再構築のプロセス管理、急性期からの早期リハビリテーションの重要性と実践方法を学んできました。

脳卒中は突然の発症で患者様・御家族の不安は大きく、また後遺症が残ることが多いため生活再構築が必要となります。急性期から

早期リハビリテーションを導入することが患者様の予後に大きく影響することを実感しました。

今後、チーム医療は必須であり、多職種との情報共有、目標の統一を行い、早期退院・転院ができるよう支援していきたいと思っております。よろしく願い致します。

がんエキスパート研修オープン講義のお知らせ

学習の秋となりました。鹿児島医療センターの教育研修に参加してみませんか？

月日	日時	場所	講義内容	講師
10月12日(水)	9:00~11:00	鹿児島医療センター 研修棟3階	がんの疫学・腫瘍学	臨床病理科医長
10月12日(水)	13:00~14:30		がん疾患(血液リンパ領域)	血液内科医長
10月12日(水)	14:30~16:00		がんリハビリテーション	リハビリテーション科医長
10月12日(水)	16:00~17:15		がん集学的治療(化学療法)	消化器内科医長
10月13日(木)	8:30~10:00		がん化学療法における看護と安全管理	がん化学療法認定看護師
10月13日(木)	10:00~12:00		がん患者の心理過程と意志決定への支援	臨床心理士
10月13日(木)	13:00~14:30		がん疾患(消化器科領域)	消化器内科医長
10月13日(木)	14:30~16:00		がん疾患(婦人科領域)	産婦人科医長
10月13日(木)	16:00~17:15		がん疼痛コントロールの基礎	耳鼻咽喉科医長
10月14日(金)	8:30~10:30		支持療法とセルフケア支援	がん化学療法認定看護師
10月14日(金)	10:30~12:00		がん集学的治療(放射線治療)	放射線科医長
10月14日(金)	13:00~14:00		がん疾患(泌尿器科疾患)	泌尿器科医長
10月14日(金)	14:00~15:30		がん集学的治療(外科的治療)	外科医長
10月14日(金)	15:30~17:15		がん疾患(頭頸部がん)	耳鼻咽喉科医長
10月15日(土)	8:30~10:00	同 会議室	がん疼痛マネジメント	がん性疼痛看護認定看護師
10月15日(土)	10:00~12:00		家族への支援・チームアプローチ	緩和ケア認定看護師
10月15日(土)	13:00~17:15		症状マネジメント	兵庫県立大学教授 内布敦子先生
10月16日(日)	13:00~14:30		リンパ浮腫	リンパ浮腫認定看護師
10月16日(日)	14:30~17:15		セデーション・がん治療における看護倫理	緩和ケア認定看護師

参加希望される方は、教育担当(深川)までご連絡下さい。

申し込み先 看護部長室教育担当 深川 ☎電話 099-223-1151 (内線7264)

循環器合同カンファレンスへのお誘い

当院では、毎週月曜日午後6時から手術適用症例などについて、循環器内科・心臓血管外科・麻酔科・リハ科など合同で症例検討会を開いています。オープンですので治療方針等について悩んでいらっしゃる症例がありましたら提示していただき、一緒に検討できればと思います。遠慮なくご参加お願い致します。

問い合わせ先

鹿児島医療センター 地域医療連携室

☎電話 099-223-1151 (内線 7344) FAX 0120-334-476

編集後記

9月に入り、この9月号がお手元に届く頃には暑さもひと段落しているでしょうか。

今年の9月11日は同時多発テロから10年・震災から半年という日でした。当時の私は沖縄にいて、台風の中、ニュースで流れる映像にくぎ付けになったことを覚えています。それから約10年後の今年の3月11日に再

びテレビにくぎ付けとなる出来事が発生しました。ともに遠く離れた地に住んでいても、受ける影響の大きさを感じ、それまでの日常が一変するような出来事で、いろいろなことを考えさせられる一日となりました。

(担当:井上)

■お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構

鹿児島医療センター (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号 代TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246
http://www.kagomc.jp 脳卒中ホットライン ▶ 090(3327)5765

【地域医療連携室】 濱田・今泉・永重・井上・神崎・森・中島・吉留・木ノ脇・水元・酒井
直通電話 ▶ 099(223)4425 フリーダイヤルFAX専用 ▶ 0120(334)476
※休日・時間外は当直者で対応します。

